

Harmony among People,  
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

## 第92期 営業のご報告

令和 6 年 4 月 1 日から  
令和 7 年 3 月 31 日まで

### CONTENTS

---

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6

---



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



## 高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

## トップメッセージ



代表取締役社長

黒木 幹也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

当社グループの第92期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

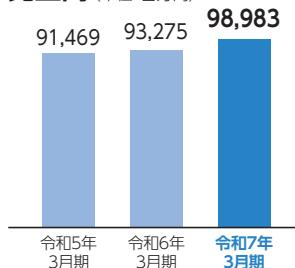
### 令和7年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境等の改善により、景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国経済の先行き懸念等による海外景気の下振れや、エネルギー価格や原材料価格の高止まりなどの影響により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当連結会計年度の売上高は989億83百万円（前期比6.1%増加）、営業利益は59億69百万円（前期比4.0%増加）、経常利益は66億42百万円（前期比0.2%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は47億84百万円（前期比6.2%増加）となりました。

## 連結財務ハイライト

売上高（単位：百万円）



営業利益（単位：百万円）



## 次期の見通しと今後の取り組みについて

当社グループでは、今後も、不透明な市場環境・経済環境が継続することを念頭に、令和8年3月期を最終年度とする中期経営計画「チェンジ&チャレンジ Stage II」の実現に向け成長戦略を着実に実行してまいります。また、事業基盤の構築とともに、当社の企業理念である「人と技術と環境の調和」に基づき、すべてのステークホルダーの皆様との共栄と社会課題への積極的な取り組みを推進してまいります。

### (1) 収益力の強化

製造工程の合理化や原価の低減、経費の効率的配分、適切な在庫管理等に努めるとともに、生産体制の再構築及び製造設備や供給設備の増強・新設のための積極的な投資を行ない、収益性・効率性の高い事業基盤を構築してまいります。また、地域に密着した事業展開を進めるとともに、今後の需要拡大が見込まれる成長分野への積極的な営業活動を継続し、収益基盤の強化をはかってまいります。

ガス事業においては、新規用途開発により新たな市場を開拓し、シリンダーガスビジネスの拡充を行ないます。特に環境負荷の低い液化アンモニア・水素ガス・新冷媒ガス、農業向け炭酸ガスの拡販や供給網整備に取り組んでまいります。特殊ガスでは、国内外向けの新規需要拡大を行なってまいります。また、保安強化のため、ガス供給設備の点検と容器の早期回収を目的とした長期滞留容器の有料化を引き続き行なってまいります。化成事業においては、生活に密着した紙工、木工、化粧品分野に、引き続き、環境にやさしい製品を拡販するとともに、住宅・設備、自動車、弱電、食品、医療分野にユーザーニーズに合った高付加価値製品を販売してまいります。また、快適な生活環境の提供を目的とした製品として、雨音・振動を低減させる吸音・制振材や太陽光を高反射する遮熱塗料、超高耐候性の『ウォールバリアシリーズ』、超撥水性『ビーズコートシリーズ』などの外装用高機能塗料を拡販してまいります。

### (2) 研究開発・技術力強化

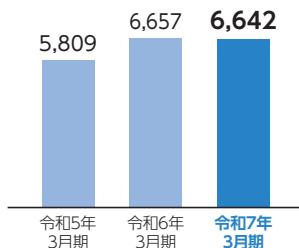
事業を継続、拡大していくためには、新技術の採用と研究開発により、技術ノウハウをさらに蓄積し、充実させていくことが重要であると認識しております。SDGsや脱炭素社会の実現、デジタル化の進展など、常に変化する市場環境を意識しながら、中長期的な視点で新規事業領域の研究開発及び社会的課題の解決に貢献する研究開発に取り組んでまいります。

ガス事業においては、非燃焼分野での用途拡大として、アセチレンを原料とするカーボンナノチューブや難燃剤など付加価値の高い製品の上市をめざします。容器関連では水素ステーションや水素発電向け大型蓄圧器、メンテナンス性を考慮した水素蓄圧器の開発を進めております。さらに運送面での効率化を目的とした軽量容器等の開発を行なってまいります。また、ガスリサイクルシステムの構築を進め、半導体分野等での希少ガスの再生を促進し、環境負荷低減に貢献してまいります。アセチレンを使用してCO<sub>2</sub>の直接排出量を90%以上削減できる新しい浸炭法(常圧スマート浸炭)やアセチレン製造時に発生するカーバイドスラリーと工場から排出される炭酸ガスを再利用したカーボンリサイクル材(軽質炭酸カルシウム)の製造技術等を他社と共同開発し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。化成事業においては、バイオマス原材料や再生可能エネルギー等を積極的に取り入れ、さらなる環境配慮型の製品開発に注力してまいります。また、高付加価値製品として自動車向けの環境配慮型の難燃性接着剤やリサイクル制振材、弱電向けの外部エネルギーを必要としない反応型接着剤や低温硬化型接着剤、次世代型の紫外線硬化型接着剤、住宅向けの塗り替え回数の削減ができる高耐候性塗料ならびにヘルスケア分野向けの低刺激性の皮膚縫合用高機能接着剤などの新たな用途の製品の開発を行なってまいります。

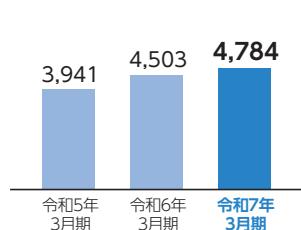
### (3) 海外市場への展開

国内事業が主体の当社グループにおいて、海外展開は、事業の一層

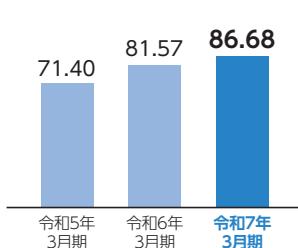
経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



# トップメッセージ

の発展のための重要な成長課題であり、ベトナムにガスの製造販売を行なう子会社及び接着剤・塗料の製造販売を行なう子会社を有しております。日本市場で蓄積した事業ノウハウを活かし、緊密な連携をはかるとともに、グローバル人材の育成と現地採用を含めた人材確保を積極的に推進しながら、現地子会社を拠点として、アジア圏を中心に、さらなる展開をはかり、事業基盤の確立をはかってまいります。

## (4) 物流体制の強化

製造・販売・物流を一体とした事業モデルを追求している当社グループにおいて、物流コストの上昇、配送人員不足、労働環境の整備は早急に取り組むべき課題であると認識しております。安全かつ迅速に製品を安定供給するため、当社グループのネットワークを活かした物流体制の強化とともに災害発生等緊急時の事業場間の応援輸送体制の構築をはかってまいります。また、物流コストの合理化や環境対策にも積極的に取り組んでまいります。

## (5) 人材の確保と育成

事業の安定化及び拡大をはかるためには、人材の継続的な採用及び育成が重要であると認識しております。採用活動は今後も厳しい状況が続くと思われませんが、さまざまな経験やスキルを持つ多様な人材の採用に向けて、採用市場の変化に柔軟に対応しながら、多面的な採用活動を続けるとともに、特性や能力を最大限活かすための教育研修制度の整備、福利厚生充実、女性活躍の推進をはかるなど、社員がより長く安心して働くことができる労働環境の整備及び働きがいのある企業風土の醸成に取り組んでまいります。

## (6) 内部管理体制の強化

コンプライアンスは、企業の持続的な成長を実現し、社会に必要とされる企業グループであり続けるために不可欠な経営上の重要課題であると認識しております。すべての役職員が法令・規程・社会規範などに沿って、常に高い倫理観とともに良識ある行動をとることができるよう、定期的なコンプライアンス研修、内部監査部門による実効性のある監査及び監査等委員や会計監査人との連携など、

コーポレート・ガバナンス体制の強化を通じて公正で透明性の高い経営と責任ある企業活動を推進してまいります。

## (7) 安全衛生管理体制の強化

安全衛生管理が経営上の重要課題であることを認識しております。「安全・安心をすべての基本姿勢とする」という当社の基本理念をより推進・徹底するため、安全衛生推進室が中心となり、労働安全及び健康増進のための労働衛生に関する課題を把握し、その対応策を協議決定のうえ、グループ一体となった労働災害の防止と衛生環境の整備に努めてまいります。引き続き、各事業場及びグループ会社とのさらなる密な連携をはかることにより、安全衛生活動の実効性を確保しながら、持続的な成長に結びつく安全文化の醸成に取り組んでまいります。

## (8) 情報セキュリティ体制の強化

近年、サイバー攻撃の巧妙化により、コンピュータウイルスの感染等による情報漏洩や業務への重大な障害発生リスクが高まっております。当社グループでは、情報セキュリティ対策として、セキュリティツール等の技術的対策の導入及び定期的な運用の見直し、また、グループ全体への情報セキュリティ情報の配信などを行ない、セキュリティ管理レベルの強化に努めております。今後も情報管理体制を重要な課題として認識し、情報管理体制を強化するべく情報セキュリティに関する各種施策を推進してまいります。

## (9) 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

持続的な成長と中長期的な企業価値向上のためPBRの向上を目標とするROE・PERの改善に着目し、事業戦略や投資・研究開発の遂行による業容拡大・利益成長・株主還元強化を通じた資本構成の適正化に取り組んでまいります。

## 株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、金10円とさせていただきます。令和6年12月10日に1株につき金10円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計20円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元を努めてまいります。

令和7年6月

### 令和8年3月期 連結業績予想

売上高	1,020 億円
営業利益	63 億円
経常利益	71 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	45 億円

※連結業績予想は「収益認識に関する会計基準」等を適用した後の金額となっております。

## 事業別の概況



### ガス事業

売上高 **735億29** 百万円  
営業利益 **65億94** 百万円



売上高 (単位:百万円)

令和7年3月期	73,529
令和6年3月期	69,015

営業利益 (単位:百万円)

令和7年3月期	6,594
令和6年3月期	6,126

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、自動車、建設などの仕向け先において、需要回復が鈍く、さらに原材料価格の高騰が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業では長年の事業活動により培われた強みを生かし、シリンダーガスビジネスの持続的な成長や収益の改善をめざし、地域に密着した営業に努めてまいりました。

産業ガス全般の売上高は、新規案件の獲得や仕向け先の需要回復、また、価格改定もあり前期を上回りました。機材全般の売上高は、新規案件の獲得や需要先の回復により前期を上回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は735億29百万円(前期比6.5%増加)、営業利益は65億94百万円(前期比7.6%増加)となりました。



### 化成品事業

売上高 **215億68** 百万円  
営業利益 **8億56** 百万円



売上高 (単位:百万円)

令和7年3月期	21,585
令和6年3月期	20,521

営業利益 (単位:百万円)

令和7年3月期	856
令和6年3月期	1,240

化成品事業を取り巻く環境は、円安影響やナフサ価格の上昇による原材料価格の高騰が続く厳しい状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業では甲賀工場を新設することで生産体制の増強をはかり、事業拡大に向けた販売体制の強化と仕向け先への安定供給に努めるとともに、新しい技術開発により、環境配慮型水性接着剤や高耐候性塗料など環境にやさしい製品や付加価値の高い製品づくりに努めてまいりました。

接着剤全般の売上高は、原材料価格の高騰に伴う価格改定もあり、前期を上回りました。塗料全般の売上高は、塗料製品の出荷数量の減少により前期を下回りました。

『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は215億68百万円(前期比5.1%増加)、営業利益は新設した甲賀工場の初期投資の影響もあり8億56百万円(前期比30.9%減少)となりました。



### その他事業

売上高 **38億85** 百万円  
営業利益 **93** 百万円



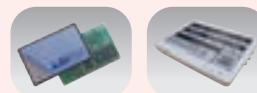
売上高 (単位:百万円)

令和7年3月期	3,885
令和6年3月期	3,738

営業利益 (単位:百万円)

令和7年3月期	93
令和6年3月期	24

LSIカード関連、食品及び食品添加物の需要が増加し、当事業の売上高は38億85百万円(前期比3.9%増加)、営業利益は93百万円(前期比279.5%の増加)となりました。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第91期 (令和6年3月31日現在)	第92期 (令和7年3月31日現在)	増減額
流動資産	64,044	64,644	600
固定資産	56,140	58,349	2,209
流動負債	29,909	29,468	△440
固定負債	13,823	13,833	9
純資産	76,451	79,692	3,240
総資産	120,184	122,994	2,809

## 連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第91期 (自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)	第92期 (自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)	増減額
売上高	93,275	98,983	5,707
営業利益	5,737	5,969	232
経常利益	6,657	6,642	△14
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,503	4,784	281
1株当たり当期純利益	81円57銭	86円68銭	5円11銭

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第91期 (自令和5年4月1日 至令和6年3月31日)	第92期 (自令和6年4月1日 至令和7年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	8,103	6,421	△1,682
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,787	△5,086	700
財務活動による キャッシュ・フロー	391	△1,093	△1,484
現金及び現金同等物 の期末残高	28,454	28,760	305

## 期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金10円となりました。

期末配当金 1株につき金10円 総額552,035,700円

支払開始日 令和7年6月25日

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 会社情報

## 会社概要 (令和7年3月31日現在)

商号	高圧ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	869名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	20カ所
出張所	4カ所
工場	14カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

## 役員 (令和7年6月24日現在)

### 取締役

代表取締役社長	黒木 幹也	取締役 常勤監査等委員	松井 良祐
代表取締役副社長	説田 和洋	社外取締役 監査等委員	山村 忠夫
取締役	森本 孝	社外取締役 監査等委員	長島 広明
取締役	池田 佳弘	社外取締役 監査等委員	西片 和代
社外取締役	中野 健次		

### 執行役員

社長執行役員	黒木 幹也	執行役員	福井 雅則
副社長執行役員	説田 和洋	執行役員	高山 昭彦
専務執行役員	森本 孝	執行役員	中村 貴雄
専務執行役員	森田 和博	執行役員	西川 隆浩
常務執行役員	池田 佳弘	執行役員	立谷 保
常務執行役員	中村 顕	執行役員	安部 悟
執行役員	片岡 一夫	執行役員	池田 剛
執行役員	野杵 達也	執行役員	鈴木 克典
執行役員	加藤 尊康	執行役員	大川 武臣

### 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## 株式の状況 (令和7年3月31日現在)

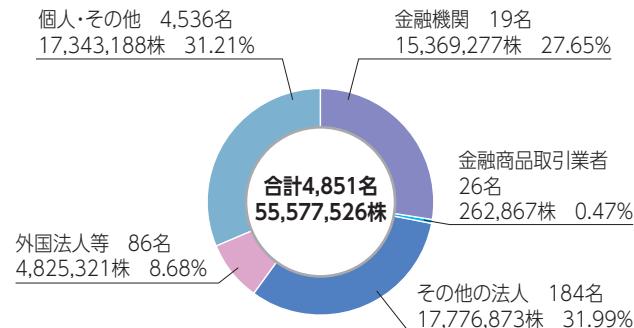
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,851名(前期末比225名増加)

## 大株主 (令和7年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
こうあつ共栄会	7,283	13.19
デンカ株式会社	6,325	11.45
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,296	5.97
日本酸素ホールディングス株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
高圧ガス社員持株会	1,573	2.85
東洋電化工業株式会社	1,563	2.83
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,160	2.10

(注)持株比率は、自己株式(373,956株)を控除して算出しています。

## 所有者別株式分布状況 (令和7年3月31日現在)



## 株主メモ

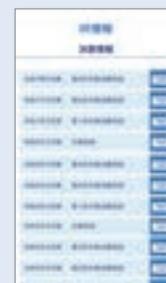
事業年度末日 毎年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
定時株主総会基準日 毎年3月31日  
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
1単元の株式の数 100株  
株主名簿管理人  
(特別口座管理機関) 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
大阪証券代行部  
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
公告掲載URL  
<https://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。  
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業

検索



## 高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)  
電話 06 (7711) 2570 (代表)  
<https://www.koatsugas.co.jp/>



UD FONT  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。